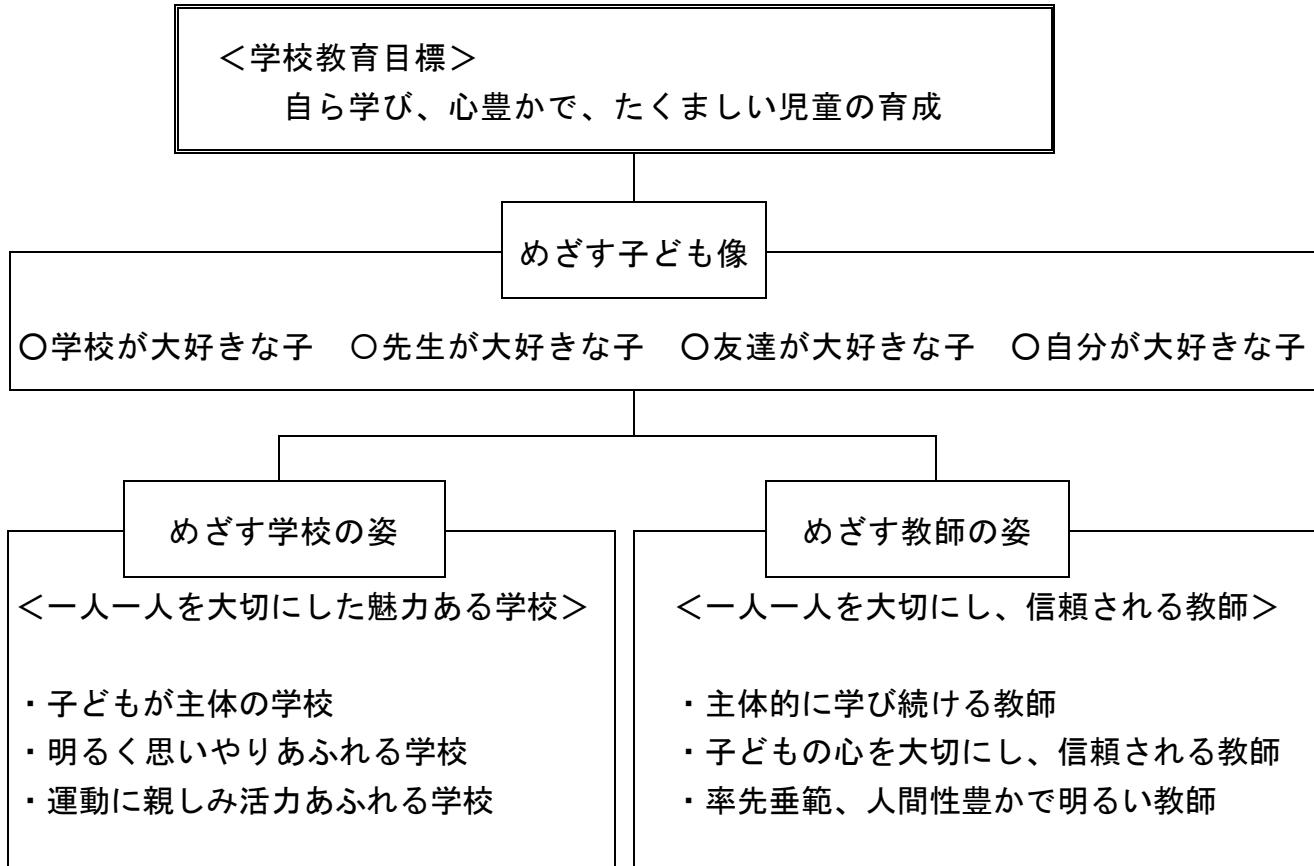


令和8年度 習志野市立屋敷小学校 学校経営方針

1 学校教育目標及びめざす子ども像等について



2 学校経営の重点目標

- (1) 【学力の向上】
授業改善を通して、児童の学力を向上させる。
- (2) 【教育相談の充実と生徒指導の充実】
定期的な教育相談と機能的な生徒指導体制により、児童を共感的に理解する。
- (3) 【健康の増進・安全の確保と体力の向上】
児童の生活全体を通して健康教育を推進するとともに、児童の体力を向上させる。
- (4) 【特別支援教育の充実】
特別支援学級の特性を理解し、児童の実情に応じた支援をする。
- (5) 【保護者・地域との緊密な連携】
保護者や地域の力を学校教育に生かし、児童の教育環境を充実させる。

3 重点目標を達成するための具体的方策（20方策）

（1）【学力の向上】のために何をするか！

- ①教える授業から児童が学ぶ授業へ。
- ②学習問題は教師が与えるのではなく、児童と一緒に作りあげる。
- ③学習に集中するために、教室の前面をすっきりさせる。
- ④板書で学習内容を明確にし、文字は一番後ろの児童がきちんと読める大きさとする。
- ⑤学習規律を確立するために、本校の学習ルールを徹底する。
- ⑥教科の特性に応じた深い学びのために、タブレット端末を積極的に活用する。

（2）【教育相談の充実と生徒指導の充実】のために何をするか！

- ⑦開発的な教育相談を行い、自己肯定感を高めるとともに、よりよい人間関係を構築し、魅力ある学校づくりをする。
- ⑧すべての児童と教育相談（面談）を各学期に実施する。
- ⑨校内の相談箱の目的を伝え活用する。
- ⑩校内の相談室（オアシスルーム）やスクールカウンセラーと連携する。

（3）【健康の増進・安全の確保と体力の向上】のために何をするか！

- ⑪児童が自分の心と体の状態を理解し、心身共に健康な生活を送れるようにする。
- ⑫食育を通して健康な体作りを推進する。
- ⑬学習中の正しい姿勢を意識させる。

（4）【特別支援教育の充実】のために何をするか！

- ⑭特別支援教育コーディネーターを中心に研修をし、理解を深める。
- ⑮通常学級にいる特別な支援を要する児童をはじめとして、一人一人の教育的ニーズを把握した教育を進める。
- ⑯基礎的環境整備の取組としてユニバーサルデザインの考え方を取り入れた「わかる授業づくり」を進める。
- ⑰特別支援学級と通常学級との交流教育を通して心のバリアフリー教育を推進し、共生社会の実現を図る。

（5）【保護者・地域との緊密な連携】のために何をするか！

- ⑱学校支援ボランティアや地域の方々の人的活力を計画的に学校運営に取り入れる。
- ⑲PTA執行部の会議に3役（校長・教頭・教務）が参加して情報を共有する。
- ⑳高い使命感と倫理観をもち働き方改革の視点もふまえ、不祥事根絶に全教職員で取り組む。